

2018

12  
月号

No.304

ふうげん  
びりあ



## 成長を確かめる

校長 横山 優美

いよいよ 12 月になりました。気温も下がり、何をするにも気持ちのよい季節になりました。

先日行われた学芸会にたくさんの保護者・地域の皆様がおいでくださり、子供たちに大きな拍手や励ましのお言葉をいただきました。ありがとうございました。このような行事を通して、子供たちはたくさんのことを学んでいます。目標に向かって真剣に取り組んでいるときに、自分のよさを見つけることができます。きっと、子供たちは日々の練習の中で、自分の役割を責任をもってやり遂げ、自分のよさを見つけることができたことと思います。そして、友達同士でお互いによりよいものを目指して磨き合ってきました。「こうするともっとよくなるよ。」とお互いに言い合える仲間と切磋琢磨しながら学ぶことの大切さを感じてきたことと思います。お互いに磨きあった仲間が力を合わせて、気持ちを一つにして取り組む姿は本当に素敵なお姿です。4月から子供たちが積み上げて成長してきた姿を見ることができました。今後も各学年でたくさんの活動が計画されていますが、仲間と力を合わせ気持ちを一つにして学んでいくことと期待しています。

今、子供たちは次の目標、ロードレース大会に向けて走り込んでいます。「途中で歩かないで最後まで走り切る」「昨年の自分の記録を更新する」「歴代記録を更新したい」などそれぞれの目標を立てて練習に励んでいます。

2学期や1年間のまとめとなる12月は、自分の頑張ったこと、できるようになったことを確かめるよい機会です。自分の成長は自分では気づきにくいものですが、一緒に生活している友達や先生、保護者の方には分かります。ですから、互いの成長を見つけ合い、伝え合って自分の成長を実感してほしいと思っています。保護者、地域の皆様も子供たちの成長をたくさん見つけて伝えてあげてください。そして、新しい年を成長した姿で迎えられようにしましょう。

保護者・地域の皆様には今年もたくさんのご支援、ご協力をいただきありがとうございました。新しい年も皆様にとってよい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

### <プログラミング教育について>

身の回りにはお掃除してくれるロボットや放っておいても心地よい温度に設定を保ってくれるエアコンがあります。これらは全てプログラムによって動き、暮らしを便利にしてくれます。未来はこういうものがどんどん増えていくことでしょう。そして、日常的な調べ物やネットショッピング等にもコンピュータを活用し、消費行動のみならず、多くの職業においてコンピュータやネットワークを活用せずに、業務を進めることは難しい社会になっていきます。このような中で、将来を生きる子供たちに情報活用能力を育成することが必要です。コンピュータがどのような仕組みで動き、どう使えばよりよい生活につながるかを理解するためにもプログラミング教育が必要なのです。2020年度から全面実施となる小学校の学習指導要領で、小学校では「情報」を専門とする教科を設置するのではなく、すべての教科の中で情報活用能力を育成し、その中でプログラミングを用いた学びを展開していくこととなりました。

プログラミング教育は「プログラミング言語」や「プログラミングスキル」の習得が目的ではありません。コンピュータに意図した処理を行うように指示することができるということを経験させながら、時代を超えて普遍的に求められる「プログラミング的思考」を育成していくことがねらいです。「プログラミング的思考」とは、「自分のやりたいことを記号として分解し、その一つ一つをどう組み合わせれば、思い通りに動くか」ということを論理的に考える力です。簡単な例を挙げると、料理のレシピを考え、調理することもプログラミング的思考の一つです。子供たちがプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考を身に付けるための学習活動を行っていくのです。プログラミングを通して、論理的思考力や創造性、問題解決能力を育むことができます。身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くこと、コンピュータの働きを、よりよい人生や社会づくりに生かそうとする態度を養うことなどをプログラミング教育で育てていきます。

今年も無事に学芸会が終了しました。本番直前に風邪が流行り、保健室にも「なんだか喉の調子がおかしくて…」と不安を抱えて来室する子供が多くみられました。クラスの人数が少ない母島の学芸会では、「一人でも欠けると舞台が成り立たない」。そんなプレッシャーを感じながら、子供たちは本番までの日を過ごしたのではないのでしょうか。

いよいよ迎えた本番当日。とても体調が悪い子供も、怪我をしている子供も、全員が舞台上で全力の演技を見せてくれました。そんな子供たちの迫真の演技に、観客の方々も胸を打たれたことと思います。個性あふれる演技で観客を笑わせながらも、最後は見ている人の心を感動で包み込んだ1, 2年生の劇「ハッピーエンド」。思わず一緒に歌い出しそうになるくらい、ワクワクする歌と演技を披露してくれた3, 4年生の劇「オズの魔法使い」。高学年としての自覚を感じさせる演技で、友情の大切さを思い出させてくれた5, 6年生の劇「きばのないおおかみ」。どの学年も練習の成果を存分に発揮できていたと思います。終演後の子供たちの満足そうな笑顔を見て、母島の学芸会のすばらしさを実感しました。今回の学芸会で得た達成感や自信を糧に、来年度の学芸会はどんな姿を見せてくれるのか、今からとても楽しみです。

---

### 中学生の舞台

中学校2学年副担任

今年も盛り沢山の学芸会の中で、中学生にしかできない舞台を目指して取り組んだ約1ヶ月間でした。短い期間の中で、ひたむきに稽古していた中学生の姿が印象に残っています。舞台を通して演劇の奥深さを学び、楽器を通して自分と向き合っていた様子が今でも忘れられません。暑い体育館の中で忍耐強く稽古を重ねる中で、中学生として舞台をつくる重みを感じたのだろうと思います。稽古では何度も悩む場面がありました。「声が届かない。雰囲気うまく作れない。」しかし、そんな悩みを超えた先のアイデアは素晴らしいものでした。「舞台のセットを変えたらいいのではないか。」「こんな道具があればうまくできそう！」そんな声が飛び交うようになり、「みんなで作っている舞台」になっていったことが、素晴らしかったです。能の大家、世阿弥によれば十代の舞台芸能は「時分の花」とあります。年齢とともに消えてしまう美しさですが、残した種が将来、枯れない花となって咲くことになります。来年度もまた、素敵な舞台が楽しみです。

11月22日、天候に恵まれ、青空の下、5年生4人は元気に南崎へ出発しました。

事前学習では、I-BOの佐々木さんから、小笠原の自然や南崎の生き物や、母島での取り組みなどについてお話をうかがいました。

当日は宮城さんのお話を聞きながら、実際にネコ捕獲カゴを背負ったり、ネコカメラを見たり、ネコ柵を見学したりしました。捕獲カゴはネコを捕まえるためだけではなく、ネコがけがをしたり暴れたりしないような工夫があることも教えていただきました。ネコも鳥も同じ生き物として大切にしていることがよくわかりました。ネコ柵の中に入り、オナガミズナギドリの巣も間近で見ることができました。実際にまだ巣立つ前のオナガミズナギドリを触ることもできました。また、カツオドリが南崎の空をゆうゆうと飛んでいる姿も見ることができました。小笠原の自然を守る人々の活動がよくわかりました。自分たちも小笠原の自然を大切にしようという気持ちをもつことができました。

---

## 島しょ教育研修会（島しょ研）

研究主任

11月9日から5日間、「島しょ教育研修会」が行われました。主な目的は、教員の「授業力の向上」です。すでに「学び通信」で本校の取り組みをお伝えしていますが、小学校では「プログラミング教育（全学年）」、中学校では「各教科」と「道徳教育」が主でした。そして、研究授業（小学6年【算数】、中学1～3年【道徳】）とその協議会、教員向けの研修会も行われました。

小学6年の算数では、「拡大図と縮図」を「Scratch」というアプリケーションを使って学習しました。今年度初めての試みでしたが、子供たちはプログラムのブロックを組み合わせ、辺の長さの数値を変え、拡大図と縮図の作図をパソコン上でも行っていました。

中学1～3年の道徳では、「奇跡の生還」という題材で、ジュリエッタという人物の行動の賛否を議論し、「公正・公平」について様々な視点から考える授業が行われました。多くの教員が見守る中、一人一人が自分の意見をはっきりと伝え、その意見を聞いて更に考えたことを伝え合うという姿が印象的でした。

その後の協議会では、教員同士で授業の課題や改善点等を積極的に話し合いました。「進みつつある教師のみ、人を教える権利あり」という言葉を胸に、私たちも精進していきます。



## 12月の生活指導

### 生活目標

「1年を振り返り、新しい年を迎えよう」

- ・自分の生活を振り返ろう。
- ・来年の目標を決めて取り組もう。
- ・冬休みも規則正しく生活しよう。

### 安全指導 3日(月)

「公共施設の使い方」が、重点指導目標です。

体育館、村民会館、公園、保育園の園庭など様々な年齢の子供が集まる場所での安全な遊び方やシャワー室、船客待合所など公共施設でのマナーの確認、自転車の置き場所を考えて行動できるように指導します。

### 避難訓練 予告なし

地震発生による津波の来襲を想定した避難訓練を行います。今回は、日時を予告しません。

津波の際の避難経路や集合場所を確認させ、診療所までの最短経路を考え、学校からC線を走って診療所へ避難させます。安全に素早く行動すること、誘導者の指示に従って避難行動がとれるようにします。

### 冬季休業中の図書室一般開放日

- 期間 平成30年12月26日(水)～28日(金)  
平成31年 1月4日(金)、1月7日(月)
- 利用時間 9:00～12:00/13:30～16:30

## 個人面談のお知らせ

### ○実施期間

12月3日(月)～12月14日(金)

### ○内 容

- ・2学期の学習や生活の様子
- ・冬季休業中の過ごし方 他

※特に話題にしたいことなどがありましたら、事前に担任までお知らせください。

## 表彰のお知らせ

〈石田波郷俳句大会〉

「山のぼり上から見えるイルカたち」

入賞 小学校1年

〈未来に残そう青い海図画コンクール〉

小学校低学年の部

優秀賞 小学校3年

佳作 小学校3年

小学校高学年の部

優秀賞 小学校4年

佳作 小学校5年

中学校の部

優秀賞 中学校2年

佳作 中学校2年

展示期間・場所

平成30年12月20日～平成31年1月4日 母島沖港  
船客待合所平日午前8時～午後5時（おがさわら丸入港中は土日も開催します。）

## ロードレース大会について（交通規制のお願い）

12月7日(金) 母島小中学校ロードレース大会を実施いたします。それに伴い午後2時10分から午後3時00分まで交通規制を行います。地域の皆様には、この時間の交通規制でご迷惑おかけいたしますが、子供たちのがんばる姿に応援をよろしく願いいたします。詳しくは別紙をごらんください。

12月の主な行事予定				16	日	
1	土			17	月	小中朝礼
2	日			18	火	租税教室(小6、中3)
3	月	朝礼(安全指導) 個人面談始 南極の氷		19	水	
4	火			20	木	大掃除・周辺美化 ウィンターコンサート
5	水			21	金	
6	木	ロードレース前健診		22	土	
7	金	ロードレース大会		23	日	天皇誕生日
8	土			24	月	振替休日
9	日			25	火	終業式
10	月	朝礼(保健指導)		26	水	冬季休業日始 図書室一般開放 学習教室(中)
11	火		SC在島	27	木	図書室一般開放 学習教室(中)
12	水	防災炊き出し(小6・中)	↓	28	金	図書室一般開放 学習教室(中)
13	木	ロードレース予備日①		29	土	
14	金	ロードレース予備日② 個人面談終		30	日	
15	土			31	月	

3学期 始業式 1月8日(火) 通常登校